



令和 8 年度（2026 年度）

信越 9 市町村広域観光連携会議 総会資料

令和 8 年（2026 年） 5 月 22 日

飯山市文化交流館なちゅら

目 次

議 事

議案第 1 号	令和 7 年度（2025 年度）事業報告について	・ ・ ・	1
議案第 2 号	令和 7 年度（2025 年度）決算及び監査報告について	・ ・ ・	7
議案第 3 号	令和 8 年度（2026 年度）事業計画(案)について	・ ・ ・	9
議案第 4 号	令和 8 年度（2026 年度）予算(案)について	・ ・ ・	1 2
議案第 5 号	役員改選について	・ ・ ・	1 5

（資 料）

信越 9 市町村広域観光連携会議	規約	・ ・ ・	1 6
信越 9 市町村広域観光連携会議	構成員	・ ・ ・	1 9

1 会 議

□4月28日（月）（飯山市役所 4階 Zoom）

第1回幹事会・第1回事業部会 合同会議

- ・令和7年度総会議案について
- ・総会講演会について
- ・その他（当面の予定、各市町村観光関連動向の情報交換）

□6月26日（木）（飯山市文化交流会なちゅら 多目的ルーム1、小ホール）

令和7年度 総会

- ・令和6年度事業報告、決算承認
- ・令和7年度事業計画（案）予算（案）承認

●講演会

演 題 「カナダの事例に学ぶ地域の価値を生かしたツーリズムについて」

講 師 カナダ観光局 日本地区代表 半藤 将代 氏

□10月28日（火）（飯山市役所 4階 全員協議会室）

第2回幹事会・第2回事業部会 合同会議

- ・事業経過報告
- ・令和8年度事業負担金（案）について
- ・その他（当面の予定、各市町村観光関連動向の情報交換）

□1月22日（木）（飯山市役所 4階 全員協議会室）

第3回幹事会・事業部会 合同会議

- ・事業経過報告
- ・令和8年度事業計画及び予算（案）について
- ・その他（当面の予定、各市町村観光関連動向の情報交換）

□2月3日（火）（タングラム斑尾東急リゾート ホテルタングラム）

令和7年度 役員会

- ・令和7年度事業報告について
- ・令和8年度事業計画及び予算（案）について
- ・意見交換

●講演会

演 題 「妙高高原、野尻湖周辺、斑尾高原のリゾート開発の現況について」

講 師 ペイシャンスキャピタルグループ(株) 日本副代表 入江 大 氏

2 実施事業

□商品開発推進事業

①広域周遊ツアーの造成・販売促進

訪日外国人観光客（インバウンド）向けのサイクリング商品造成のため、デンマーク、ドイツ、イタリア、カナダのエージェントに対し、信越自然郷エリアのFAMトリップを実施。飯山駅を起点とし、エリア内1泊～3泊でサイクリング、歴史文化、食コンテンツを紹介。

業務委託：長野県観光機構 連携：コンパスハウス（野沢温泉村）

2027年販売の旅行商品造成に向け、引き続き連絡調整を行っています。

②広域ツアー飯山駅発着料金助成 旅行会社1社1商品の助成実施

・(株)そらまめキッズツアー 斑尾ジップラインアドベンチャー&ラフティング満喫ツアー

期間 8月7日～8月10日 助成人数 37人

<以下、関連事業>

③海外エージェントによるサイクルツアー実施

10月12日～10月18日 米Bicycle Adventures社による信越自然郷（飯山駅）を起点とした長期滞在型サイクルツアーが実施されました。

今年で3年目となるこのツアー、オペレーション体制も確立され、効率よくツアー運営ができています。日本では馴染みのない長期間・長距離のサイクリングツアーですが、こうしたツアーをきっかけとして自転車の楽しみ方やエリアの魅力が紹介、拡散されることで、国内外のエージェントによるサイクルツアー造成、来訪が期待されます。



【参加人数】10名 【価格】\$8,475（約129万円：対ドル152円換算）/人（往復航空券代別）
（昨年実績）7名 【価格】\$7,740（約112万円：対ドル143円換算）/人 //

【日程】 ※サイクルツアーサポートバスは信越エリアの走行時に帯同

10月11日 入国 東京 泊

10月12日 【歴史ある神社や温泉を楽しむ】

飯山（自転車）-中野市-木島平村-小菅神社参拝-野沢温泉 泊

10月13日 【上信越高原国立公園ライド】

野沢温泉（ゴンドラ乗車）-上ノ平高原-渋峠-湯田中渋温泉郷-野沢温泉 泊

10月14日 【高原地帯から日本海へのライド 高田城見学】

野沢温泉（自転車）-富倉峠-上越市-糸魚川市-妙高市 泊

10 月 15 日 【妙高戸隠連山国立公園ライド】

妙高高原 VC（自転車）-信濃町（蔵見学）-飯綱町-妙高市 泊

10 月 16 日 新幹線で移動・休養日【古都金沢 ユネスコ文化都市訪問】

兼六園、茶屋街等見学、坐禅体験 金沢市 泊

10 月 17 日 【北陸エリアサイクリング】

金沢（自転車）-南砺エリア-高岡エリア-氷見 泊

10 月 18 日 【北陸エリアサイクリング 2】

氷見（自転車）-能登島エリア-七尾エリア-氷見 泊

10 月 19 日 東京へ移動後、東京見学-東京 泊

10 月 20 日 帰国

④GO!GO! 千曲川 サイクルトレインプラン（信州いいやま観光局、JR 連携）

今年度は飯山駅から 2 駅南に延伸し、替佐駅から森宮野原駅間にて 4 月～11 月まで実施。

信越自然郷アクティビティセンター（飯山駅）もしくは栄村秋山郷観光協会（森宮野原駅）で受付を行い、森宮野原駅から替佐駅間の各駅で飯山線に乗降車しながらサイクリングや地域のグルメ、景色を楽しむプランとなっています。

	令和 5 年度（2023 年度）	令和 6 年度（2024 年度）	令和 7 年度（2025 年度）
期間	R5.9.1～11.5	春 R6.4.5～6.30 夏 R6.7.1～9.30 秋 R6.10.1～11.24	R7.4.1～11.24
区間	森宮野原駅 ⇒ 飯山駅 ※上りのみ	森宮野原駅 ⇄ 飯山駅 ※上り+下り	森宮野原駅 ⇄ 替佐駅 ※上り+下り
変更点	初年度	・上下線で利用可能 ・3つのプランで実施	・通年で実施 ・飯山駅から替佐駅まで延伸
実績(単位：台)			
レンタル平日	134	160	165
レンタル土日祝	88	142	79
マイチャリ	136	116	82
合計	358	418	326



■信越自然郷スーパーバリューチケット 25-26 販売（信州いいやま観光局）

販売期間：令和7年10月1日～12月31日（1,500セット限定） 販売実績：1,497冊

※令和7年度から「スノーリゾートロマンスの神様」が新たに参画



□プロモーション関連

①ブース出展およびエリア内関連イベント

- R7. 4. 19～20 CYCLE MODE TOKYO 2025 ブース出展 来場者：20,106名
- R7. 7. 5～6 モンベルフレンドフェア横浜 ブース出展 来場者：16,500名
- R7. 7. 19～20 糸魚川・上越・妙高 SEA TO SUMMIT 2025 エントリー：122名
- R7. 9. 28 サイクルツアーサポートバス体験ライド 2025 参加者：13名
- R7. 10. 5 野沢温泉自転車祭 2025 参加者：延べ400名
- R7. 10. 12 グルっとまるごと栄村 100km サイクリング 2025 参加者：204名
- R7. 10. 25～26 千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT 2025 エントリー：254名
- R8. 3. 7～8 CYCLE MODE RIDE OSAKA 2026 ブース出展 来場者：13,106名

②WEBメディア・SNS等

R7. 4 春のサイクルツーリズム PR

「GO! GO! 千曲川 飯山線サイクルトレインプラン」Google/Yahoo 広告配信 実施
（JR長野支社との協働事業 委託先：ジェイアール東日本企画）

通年 信越自然郷およびアクティビティセンターSNSにて情報発信

③TV・雑誌・新聞等

R7. 5. 17 abn「駅テレマルシェ」（パンタグラフがE-BIKEで新緑広がる北信濃へGO!）

R7. 8. 20 自転車雑誌「Cycle Sports」10月号 渋峠でのクイーンステージ再現特集掲載

R7. 9 CATV「レッツゴー! まちっぷちゃん」（長電×飯山線 サイクルトレイン乗り継ぎの旅）

3 その他連携事業等

関連団体、メーカーと連携したサイクルツーリズムの推進

- ・ 関東広域DMO、信越連協と連携したアジア圏へのアドベンチャーツーリズム PR

R7. 7. 15～17 千曲川エリア、妙高戸隠連山国立公園エリア

シンガポールのエージェントを2社招聘し、FAMツアーを実施。

2社共、信越エリアの商品を造成、販売開始。（X-Trekkers 社、Dynasty Travel 社）

- ・ 国内他エリアとのサイクルツーリズム連携
 - R7.4.13 エロイカジャパン（クラシック自転車ライドイベント） 視察参加
 - R7.5.20 Japan velo 関係者による信越自然郷エリア視察
 - R7.11.22～23 Japan velo ルートインスペクター講習受講
Euro velo 同等の基準によるルート設定、評価を可能とすることを目指す。
- ・ サイクルショップとコラボした参加型企画によるサイクルツーリズム PR
 - R7.8.17 GRAVEL ESCAPE in NAGANO
サイクルモード大阪、東京会場でトークショーを実施したことが契機となり、サイクルツアーサポートバスを活用したグラベルツアーを企画、斑尾高原をベースとしたルートを紹介、業界、ユーザー共にグラベルへの関心の高さを感じることができた。
(企画・主催 サイクルショップ Re belle)
- ・ インバウンド向けセルフガイドツアー商品造成販売
 - 【グリーンシーズン】
レンタサイクルと体験をセットにした商品を企画販売
 - 【ウィンターシーズン】
ファットバイク（極太タイヤの自転車）を活用し、配布される地図やアプリを見ながら推奨ルートを周遊する商品を企画、1月末から販売開始。
(企画・主催 信越自然郷アクティビティセンター)
- ・ 信越自然郷飯山駅観光案内所の取り組み
 - R7.10～11 信越自然郷 工芸ワークショップ 2025 開催
 - A：内山和紙でつくるグラスランタン作り（木島平村）
 - B：伝統技術「彫金」でつくる しおり&アクセサリ（飯山市）
 - C：織機でカンタン手織りのタペストリー作り（飯山市）
 - D：かわいい中野土人形の絵付け体験（中野市）
 - E：小沼ほうきの小手箒（飯山市）
 - R7.12～ 観光案内所にてエリア内の地酒、地ビールの販売を開始
通年 信越自然郷在住の作家さんによる手仕事作品を展示販売
(企画・主催 信越自然郷飯山駅観光案内所)
- ・ スノー関連の取り組み
 - R7.6.23～24 マウンテンリゾート研究会（日本交通公社）
山ノ内町平澤町長、野沢温泉村上野村長、白馬村丸山村長による事例発表の他、ニセコエリアをはじめとした国内の取り組みから学ぶ分科会に参加。
 - R7.9.19、10.27 NAGANO マウンテンリゾートネットワーク会議 検討会（長野県観光機構）
広域エリアでのマウンテンリゾートブランディング、PR、商品造成等を図る検討会で信越自然郷構成自治体、団体も複数参加。
- ・ Japan Alps Cycling Project への参加
 - R7.11.25 JACP 臨時総会 ホテルメトロポリタン長野
組織拡大、役員改選について審議、長野県知事が顧問、同副知事が副代表に就任



Web サイトリニューアル等、事業進捗状況について報告

国交省 総合政策局 モビリティサービス推進課 星課長による基調講演

「次期自転車活用推進計画とサイクルツーリズムの産業化、広域連携」

- ・ 長野・北信サイクルツーリズム推進会議への参加

R8.1.14 長野合同庁舎

Japan Alps Cycling Project 小口良平氏、maaru（小布施町） 阪田明子氏、須坂市観光協会 清水朋美氏による鼎談、3 氏との個別相談会、各地域の事例発表（信越自然郷アクティビティセンターの取り組みも報告）を実施

- ・ モンベルとの連携

R7.7.5～6 パシフィコ横浜

モンベル創業 50 周年記念 モンベルフレンドフェア横浜 2025 信越自然郷ブース出展

継続事業 「JAPAN ECO TRACK 信越自然郷」の推進（アプリ、冊子活用）

新規 モンベルアプリ新機能運用開始、信越エリアの情報を掲載

議案 第2号

令和7年度（2025年度） 信越9市町村広域観光連携会議 収入支出決算書

収入合計	15,328,230	円
支出合計	11,579,288	円
差引残高	3,748,942	円

収入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減	摘 要
負担金	12,000,000	12,000,000	0	9市町村負担金
補助金	0	0	0	
繰越金	3,050,014	3,050,014	0	令和6年度繰越金
雑 入	986	278,216	277,230	預金利息他
計	15,051,000	15,328,230	277,230	

支出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減	摘 要
①商品開発推進事業	4,100,000	2,390,800	△ 1,709,200	★ 広域周遊ツアー造成・販売促進 2,280 千円 ・ 広域旅行商品飯山駅利用助成 111 千円 ・ 周遊観光事業支援 0 千円
②プロモーション事業	5,000,000	3,187,305	△ 1,812,695	★ WEBコンテンツ整備、パンフ作成、PR活動等 1,968 千円 ★ ホームページ更新・管理 1,043 千円 ・ 周辺地域イベントでのPR 176 千円
③基盤整備事業	4,900,000	4,979,808	79,808	★ JET信越自然郷の推進 1,870 千円 ★ サイクルツーリズム推進に向けた環境整備 185 千円 ・ メーカー登録更新 924 千円 ・ PRイベント出展 1,525 千円 ・ 周辺広域エリア連携 476 千円
④受入体制整備事業	300,000	0	△ 300,000	・ 2次交通案内環境整備 0 千円
⑤事業推進費	751,000	1,021,375	270,375	・ 研修会参加費、旅費、事務費等 691 千円 ・ wifi調査 330 千円
計	15,051,000	11,579,288	△ 3,471,712	

★ 重点事業

※予算の執行上必要があると会長が認めた場合には、項目間において予算を流用することができる。

令和8年（2026年）5月22日 提案

令和8年（2026年）5月22日 承認

監 査 報 告 書

信越9市町村広域観光連携会議の令和7年度収支決算について、規約第9条第4項の規定により、関係書類を監査したところいずれも正確であり、適正に処理されていたことを報告します。

令和 8 年 5 月 14 日

監 事

平澤 岳 

監 事

鈴木 文雄 

令和 8 年度（2026 年度）信越 9 市町村広域観光連携会議 事業計画（案）

信越自然郷エリアにおける「保養・獲得型」観光を具現化するため、地域コンテンツを活用した周遊・滞在型旅行商品の販売促進に取り組むとともに、広域エリアの玄関口となる北陸新幹線飯山駅利用促進に向けた広域情報案内、発信機能や交通結節の強化と利便性向上を図ります。

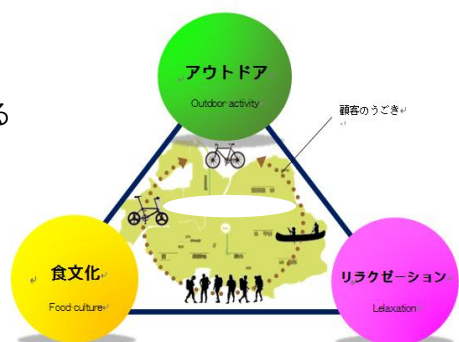
信越自然郷基本構想での目指すべき姿に向かい、令和 8 年度は以下の事業を実施いたします。

【目指すべき姿】

- ① 世界的に知られた魅力的な文化圏
- ② 「保養・獲得型」観光が浸透しているエリア
- ③ 「ここならではの価値」が提供されているエリア

来訪した顧客は一定の対価を払って次の 3 つの価値を得ている

- 1) 自然を活かした多彩なアウトドアレジャーの楽しみ
- 2) 里山の伝統的な食文化の魅力
- 3) 古来の自然や文化がもたらすリラクゼーション



この実現に近づくため、上記 3 つの価値を軸として本エリアの特徴と魅力に磨きをかけると共に、旅行商品の販売促進やプロモーションに取り組み、山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりを推進します。また、その価値を顧客に対し十分に提供できる旅のスタイルとして「JAPAN ALPS CYCLING」「JAPAN ECO TRACK」「Japan Velo」といった取り組みと連携し、事業を展開します。

1. 商品開発推進事業

(1) 「信越自然郷」旅行商品の造成販売を推進し、交流人口増加と飯山駅停車本数増加に結び付けます。

■ 広域周遊ツアーの造成・販売促進

様々な分野の関係事業者と連携しながら、信越自然郷の魅力ある素材を組み合わせ、顧客ニーズに沿った「保養・獲得型」の旅行商品の造成、販売を促進します。令和 8 年度は海外イベントへの出展等により、訪日外国人観光客（インバウンド）に向けたツアー提案を強化します。

■ 飯山駅発着広域旅行商品への料金助成

飯山駅で乗降する広域の受注型および募集型団体旅行に対し、参加人数に応じた料金を助成することで飯山駅利用を促進します。令和 8 年度は日帰り旅行も対象とします。

■ 共通リフト券発行（関連事業）

共通リフトクーポン券「信越自然郷スーパーバリューチケット」の企画販売、地域連携強化によるエリア全体での集客を目的とした共通リフト券の販売について、信越自然郷アクティビティセンターの事業として実施します。

2. プロモーション事業

(1) 国内外へのプロモーションを展開します。

■広域旅行商品の販売促進と情報流通

事業者との連携により、アウトドアアクティビティをはじめとするエリアの魅力を国内外に向け積極的に発信、情報流通を図り、地域の賑わい創出と経済活性化、飯山駅の利用促進と停車本数の増加を目指します。

■9市町村が連携した戦略的なプロモーションの実施

各市町村と連携し、戦略的かつ効果的なプロモーションを行います。

■情報発信ツールの企画・制作

信越自然郷およびアクティビティセンターの公式ウェブサイト、公式 SNS を活用し、デジタルマーケティングを進めます。

3. 基盤整備事業（アクティビティ環境整備と情報発信）

(1) 「自転車活用推進計画」に関連し、地域特性を有効的に利活用したアクティビティ環境整備を推進します。

■「JAPAN ECO TRACK 信越自然郷」の推進

信越自然郷アクティビティセンターと9市町村の各観光案内所等を拠点として、アクティビティメニューの案内を充実するための環境整備を進めます。

■サイクルツーリズム推進に向けた環境整備

国内外のサイクリストに向けた環境整備（ハード、ソフト両面）と、自転車関係人口増加を図る取り組みを県（JAPAN ALPS CYCLING PROJECT）、各市町村、周辺地域、関連団体（Japan Velo）と連携して推進します。

(2) 海外エージェント及び連携協定に基づく各組織との連携、アウトドアメーカーや周辺広域エリア等との連携による体制構築と情報発信により、国内外に向けた誘客活動を展開します。

■アウトドアメーカーとの連携、情報発信

モンベルとの連携および JAPAN ECO TRACK の取り組み推進により、情報発信や商品開発を進め「信越自然郷」の知名度向上を図ります。

4. 受入体制整備事業

(1) 交通事業者と連携し、観光インフラ案内の充実とデジタル化、2次交通の利便性を向上させ、飯山駅のハブ機能を強化します。

■信越自然郷2次交通案内環境整備

信越自然郷エリア内の拠点をつなぐ2次交通ネットワークのオープンデータ化を継続的に進め、利用者目線での利便性向上を図り、観光客の満足度向上と公共の利益につなげていきます。

県、市町村単位の取り組みとも連携し、地域交通課題の解決に向けて協働を図ります。

5. 事業推進

(1) 広域観光事業推進に係る人材育成、及び関連業務等を進めます。

■各種事業推進に係る需用費等

各種研修会や先進地視察等への参加およびエリア内観光客動向の把握と検証をとおり、多様な顧客ニーズに応えられる人材育成を推進、提供する価値の質の向上を図ります。

令和8年（2026年）5月22日 提案

令和8年（2026年）5月22日 承認

議案 第4号

令和8年度（2026年度） 信越9市町村広域観光連携会議 収入支出予算—(案)—

収入合計	15,250,000	円
支出合計	15,250,000	円
差引残高	0	円

収入

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	差額	摘 要
負担金	10,000,000	12,000,000	△ 2,000,000	9市町村負担金
ツーリズムエキスポ出展負担金	1,500,000	0	1,500,000	
繰越金	3,748,942	3,050,014	698,928	令和7年度繰越金
雑 入	1,058	986	72	預金利息他
計	15,250,000	15,051,000	199,000	

支出

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	差額	摘 要
①商品開発推進事業	4,000,000	4,100,000	△ 100,000	★ 広域周遊ツアー造成・販売促進 3,500 千円 ★ 広域旅行商品飯山駅利用助成 500 千円 ・ 周遊観光事業支援 千円
②プロモーション事業	6,200,000	5,000,000	1,200,000	★ WEBコンテンツ整備、パンフ作成、PR活動等 2,700 千円 ★ ホームページ更新・管理 1,600 千円 ・ 周辺地域イベントでのPR 400 千円 ※ ツーリズムエキスポ出展負担金 1,500 千円
③基盤整備事業	3,800,000	4,900,000	△ 1,100,000	★ JET信越自然郷の推進 600 千円 ★ サイクルツーリズム推進に向けた環境整備 600 千円 ・ メーカー登録更新 950 千円 ・ PRイベント出展 1,100 千円 ・ 周辺広域エリア連携 550 千円
④受入体制整備事業	300,000	300,000	0	・ 2次交通案内環境整備 300 千円
⑤事業推進費	950,000	751,000	199,000	・ 研修会参加費、旅費、事務費等 620 千円 ・ wifi調査 330 千円
計	15,250,000	15,051,000	199,000	

★ 重点事業

※予算の執行上必要があると会長が認めた場合には、項目間において予算を流用することができる。

令和8年（2026年）5月22日 提案

令和8年（2026年）5月22日 承認

◇令和8年度（2026年度）信越9市町村広域観光連携会議負担金（案）

市町村名	A	B	C	(A×C) 観光客 ×効果率補正	D	(B×C) 人口×効果 率補正	E	F	G	H	I	Q
	観光客数 (百人)	人口 (人)	効果率 影響率		補正後 観光客割 (10%)		補正後 人口割 (7%)	均等割 (定額:18%)	新幹線駅 所在割 (65%)	(D+E+F+G) 単独 事業費	単独事業 負担金	(I+Q) 負担金合計
中野市	4,109	40,090	50%	2,055	43,000	20,045	228,000	200,000		471,000	471,000	471,000
妙高市	35,013	27,831	20%	7,003	146,000	5,566	63,000	200,000		409,000	409,000	409,000
飯山市	15,222	17,583	100%	15,222	317,000	17,583	200,000	200,000	6,500,000	7,219,000	7,219,000	7,219,000
山ノ内町	36,722	10,340	25%	9,181	191,000	2,585	29,000	200,000		420,000	420,000	420,000
信濃町	9,395	7,082	50%	4,698	98,000	3,541	40,000	200,000		338,000	338,000	338,000
飯綱町	2,790	9,600	50%	1,395	29,000	4,800	55,000	200,000		284,000	284,000	284,000
木島平村	1,466	3,963	100%	1,466	31,000	3,963	45,000	200,000		276,000	276,000	276,000
野沢温泉村	6,805	3,001	100%	6,805	142,000	3,001	34,000	200,000		376,000	376,000	376,000
栄村	580	1,425	25%	145	3,000	356	4,000	200,000		207,000	207,000	207,000
計	112,102	120,915		47,968	1,000,000	61,440	698,000	1,800,000	6,500,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000

金額単位：円

※観光客数：直近3か年平均（R4・R5・R6）
※人口：R7.9.1現在
＜各数値は、各県・市町村公表統計値又は推計値＞

議案第5号

役員改選について

役員を次のとおり改選する。

役員改選(案)

役 職 名	職 名	氏 名
会 長	飯山市長	江沢 岸生
副 会 長	中野市長	湯本 隆英
副 会 長	妙高市長	城戸 陽二
監 事	山ノ内町長	平澤 岳
監 事	信濃町長	鈴木 文雄
理 事	飯綱町長	土屋 龍彦
理 事	木島平村長	日 臺 正博
理 事	野沢温泉村長	上野 雄大
理 事	栄村長	宮川 幹雄
理 事	長野県北信地域振興局長	三森 和子

令和 8 年 5 月 2 2 日 提案

令和 8 年 5 月 2 2 日 承認

信越 9 市町村広域観光連携会議 規約

(名称)

第 1 条 この組織は、信越 9 市町村広域観光連携会議（以下「本会」という。）という。

(事務所)

第 2 条 本会の事務所は、長野県飯山市大字飯山1110番地1に置く。

(目的)

第 3 条 本会は、信越地域（以下「地域」という。）の関係市町村並びに交通機関並びに関係諸団体の連携により、この地域のエリアイメージを高め、それぞれが持つ豊かな自然環境などの観光資源を最大限活かした広域観光連携事業を行い、国際レベルのリゾートを目指すとともに、観光関連産業の振興を図り、もって地域経済の活性化及び地域文化の向上に資することを目的とする。

(事業)

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 国際レベルの観光地の確立に関すること。
- (2) 観光資源の開発・連携と情報発信に関すること。
- (3) 新幹線飯山駅を中心とした交通体系整備に関すること。
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

(組織)

第 5 条 本会は、本会の目的に賛同する団体等をもって組織する。

2 本会に加入する団体等の承認の可否は、本会の会議に諮って決定する。

(役員)

第 6 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 2 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員の選出)

第 7 条 会長は、飯山市長をもって充てる。

2 副会長、理事及び監事は、構成員の互選により選出する。

(任期)

第 8 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 団体等の中で構成員及び役員に異動等があったときは、その後任が職務を継承するものとする。

(役員の任務)

第 9 条 会長は、本会を統轄し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、本会の会計を監査する。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

3 顧問は、本会の会議に出席して意見を述べることができる。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、役員会及び幹事会とする。

(総会)

第12条 総会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 総会は、次に掲げる事項を審議決定する。

(1) 規約の制定及び改廃に関すること。

(2) 予算及び決算に関すること。

(3) 事業計画及び事業報告に関すること。

(4) 役員の選出に関すること。

(5) 新構成員の加入に関すること。

(6) その他本会の目的達成のために必要な事項

3 会議の協議事項において、可否が必要となる場合は、出席者の過半数で決する。
ただし、可否同数の場合は、会長がこれを決定する。

(役員会)

第13条 役員会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 役員会は、次の事項を審議決定する。

(1) 総会の議決を要する事項で緊急を要し、会長がこれを招集する暇のないと認めた事項

(2) その他会長が必要と認めた事項

(幹事会)

第14条 幹事会は、第3条に規定する関係市町村等の部課長等で構成する。

2 幹事長は、会長市の部長又は課長とし、幹事会を統括する。

3 幹事会は、総会に付議する事項をあらかじめ協議するほか、本会の運営に関し必要な事項について協議を行う。

(部会)

第15条 本会に専門的な事項を検討及び推進するため、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会に部会長及び副部会長を置き、会長が指名する。

3 部会長は、部会を招集し、会務を総理する。

4 部会長は、必要があると認めるときは、部会に部会員以外の者の出席を求めることができる。

(事務局)

第16条 本会の事務を処理するため、飯山市役所に事務局を置く。

2 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第17条 本会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

2 前項に規定する負担金は、会議に諮って会長が別に定める。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(補則)

第19条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成24年1月31日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年8月24日から施行する。

信越 9 市町村広域観光連携会議 構成員

区分	団体名
行政関係団体	飯山市
	中野市
	妙高市
	山ノ内町
	信濃町
	飯綱町
	木島平村
	野沢温泉村
	栄村
	北信広域連合
	長野県
	飯山市議会
	中野市議会
	妙高市議会
	山ノ内町議会
	信濃町議会
	飯綱町議会
	木島平村議会
	野沢温泉村議会
	栄村議会
観光団体	長野県観光機構
	信州いいやま観光局
	信州中野ふるさと公社
	妙高ツーリズムマネジメント
	山ノ内まちづくり観光局
	信州しなの町観光協会
	飯綱町観光協会
	木島平村観光振興局
	野沢温泉マウンテンリゾート観光局
	栄村秋山郷観光協会
	野沢温泉旅館ホテル事業協同組合

信越 9 市町村広域観光連携会議 構成員

区分	団体名
商工団体	長野県経営者協会
	長野県中小企業団体中央会
	長野県商工会議所連合会
	長野県商工会連合会
	飯山商工会議所
	信州中野商工会議所
	山ノ内町商工会
	信濃町商工会
	飯綱町商工会
	木島平村商工会
	野沢温泉商工会
	栄村商工会
	みゆき野青年会議所
	中野青年会議所
	中高職業訓練協会
農業団体	長野県農業協同組合中央会
	ながの農業協同組合飯山支所
	中野市農業協同組合
	ながの農業協同組合志賀高原支所
交通関係	東日本旅客鉄道(株)長野支社
	長野電鉄(株)
	長電バス(株)
	アルピコ交通(株)
	しなの鉄道(株)
報道関係	信濃毎日新聞(株)
	日本放送協会長野放送局
	信越放送(株)
	(株)長野放送
	(株)テレビ信州
	長野朝日放送(株)
	北信濃新聞社
	北信ローカル

自然共生園
信越自然郷
shin'etsu shizenkyo

